

障がい

目標

互いを尊重し、助け合うまち

基本目標

障がい児・者が暮らしやすくなる
地域をつくろう

取組

意識のバリアフリーをすすめる。

取組

障がいの有無に関係なく
参加・交流できる場をつくる。

取組

地域の中で助け合う仲間を増やす。

取組

人・情報のネットワークを強くする。

～このような現状と課題を踏まえています～

～ 充実してきたこと ～

- 区内には障がいのある人を支援する施設が多い。
- 地域でのイベントに障害者施設が出展したり、施設のイベントに自治会が協力し合うことが増えてきた。
- 地域福祉保健計画の検討に施設関係者が委員として参加できている地域がある。
- 区社協・ケアプラザで開催する障がい児・者を支援する事業にボランティアも参加している。

～ 課題と感じていること ～

- 住民と障がい児・者とが交流する機会が少ない。
- 地域で障がい児・者が活動する場が少ない。
- 障がい児・者の状況を理解することがむずかしく、どのような助けが必要なのかわかりにくい。
- 障がい児・者やその家族が、地域で安心して生活できる関係づくりが必要。
- 障がい児・者を支援するケアプラザの事業（余暇支援事業）に新しいボランティアが集まらない。

具体的な取組内容はこちら

※ 法律上の名称を利用するときは「障害」とし、それ以外は、「障がい」と表記しています。

基本目標

障がい児・者が暮らしやすくなる地域をつくろう

(具体的な取組)

○意識のバリアフリーをすすめる。

誰が	期待される取組 (例)
地域住民活動団体	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・者、障害者施設が地域活動に参加できる工夫をする。 災害時要援護者への取り組みをとおして知り合い、声をかけ合う関係をつくる。
関係機関 (障害者施設など)	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの理解を促す情報発信を行う。

誰が	計画期間中に取り組むこと	推進のスケジュール (年度)					
		22	23	24	25	26	27
区役所	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・者やその家族、障害者施設等からの広報啓発活動を支援する。 	◎ 実施	→				
	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等と協力して学習会を開催する。【目標：全地区】 	◎ 実施	→				
	<ul style="list-style-type: none"> 教育機関と協力して、児童のうちから、さまざまな年代、対象の人とふれあう場をつくる。【目標：全地区】 	△ 検討	◎ 実施	→			
区社協	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・者を理解するための広報、啓発活動を実施する。(作品展示等のPR事業、災害用コミュニケーションボード、出前講座など) 【目標：全地区】 	◎ 実施	→				
ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 事業参加者の対象を広げ、障がい児・者との交流がしやすくなるよう工夫する。 	△ 検討	◎ 実施	→			

障がいの有無に関係なく参加・交流できる場をつくる。

誰が	期待される取組（例）
地域住民 活動団体 関係機関 （障害者施設など）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントに障がい児・者、障害者施設が企画段階から参加できるようにする。 ・地域活動に誰もが気軽に参加できるようにする。 ・障がい児・者とその家族を地域活動に誘う。

誰が	計画期間中に取り組むこと	推進のスケジュール（年度）					
		22	23	24	25	26	27
区役所	・誰でも参加できる居場所づくりの立ち上げと地域住民主体の運営を支援する。【目標：4か所】	検討	実施	→	→	→	→
	・地域で行う取組に障がいのある人が参加できるよう支援する。	実施	→	→	→	→	→
区社協	・関係機関が地域活動に企画から参加できるように支援する。	実施	→	→	→	→	→
ケアプラザ	・事業やイベントをとおして、住民と障がい児・者とをつなぐ支援を行う。	実施	→	→	→	→	→

地域の中で助け合う仲間を増やす。

誰が	期待される取組（例）
地域住民 活動団体	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なときには声をかけ合えるご近所づきあいをする。 ・交流活動の参加者に、ボランティア活動参加へ積極的に呼びかける。
関係機関 （障害者施設など）	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者同士、家族同士の交流の機会を増やす。 ・ボランティア活動を希望する人が参加しやすくなるよう工夫する。

誰が	計画期間中に取り組むこと	推進のスケジュール（年度）					
		22	23	24	25	26	27
区役所	・学生のボランティア参加のきっかけづくりと継続的な活動を支援する。（サロン参加など）【目標：2校】	検討	実施	→	→	→	→
区社協	・ボランティア登録者へ障がい理解のための学習会を開催する。【目標：年1回】	実施	→	→	→	→	→
	・関係機関と住民、活動団体が協力して開催する障がい者同士、家族同士の交流会を支援する。【目標：全地区】	実施	→	→	→	→	→
ケアプラザ	・住民やケアプラザ利用者に障がい児・者対象の余暇支援事業に呼びかける。	実施	→	→	→	→	→

○人・情報のネットワークを強くする。

誰が	期待される取組（例）
地域住民活動団体	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の情報を積極的にPRする。 ・地域活動の企画・運営に障がい児・者やその家族、支援関係者も参加する。
関係機関 (障害者施設など)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の活動情報の発信をHPや地域の情報誌に掲載する。 ・障がい児・者やその家族同士のグループで情報交換や相談ができるようにする。

誰が	計画期間中に取り組むこと	推進のスケジュール（年度）					
		22	23	24	25	26	27
区役所	・相談できる機関や窓口の情報提供を地域でもできるよう、わかりやすく情報をまとめる。	△ 検討	◎ 実施				
	・情報提供できる機関を区内に増やす。	◎ 実施					
	・情報の集約と発信ができる仕組みづくりを支援する。	△ 検討		◎ 実施			
	・教育機関と活動団体、区社協が連携できるよう支援する。	△ 検討	◎ 実施				
	・必要な人に必要な情報が届くようコーディネートする。	◎ 実施					
区社協	・関係機関、区役所と協力して、障がい児・者や作業所、施設等関係機関との情報交換と集約、発信ができる仕組みをつくる。	△ 検討		◎ 実施			
	・教育機関が地区や区内の施設等関係機関との話し合いに参加できるよう支援する。 【目標：全地区】	△ 検討	◎ 実施				
	・必要な人に必要な情報が届くようコーディネートする。	◎ 実施					
ケアプラザ	・情報交換と集約と発信ができる仕組みづくりに協力する。	△ 検討	◎ 実施				
	・教育機関が地域での話し合いに参加できるように支援する。	△ 検討	◎ 実施				
	・必要な人に必要な情報が届くよう関係機関につなげる。	◎ 実施					